

中3国語 出題のねらいと対策

1 説明的文章読解 65.8%

ねらい：文章を通して筆者が述べようとしている主張の把握や、指示語の指示内容の把握など、基本的な読解の力を問う。また、漢字の読み書きや、修飾語についての知識を問う。

分析と対策：問1は漢字の読み取り問題です。「卑下」などの普段あまり使わないような言葉は、その意味も確かめておきましょう。問2は、修飾語の係り受けの問題です。修飾語を被修飾語の直前に置いてみて、文意が変わらないかどうかを確かめて判断しましょう。問4は、指示語の指示内容をとらえてください。実際に「それ」の部分に言葉をあてはめて、文脈が通るかどうかを確認しましょう。問3、問8の記述問題では、文中からヒントとなる場所をまず探して、指定された形になるように答えをまとめます。このように、四十字程度の答えを書くような場合は、いきなり解答欄に書き込むのではなく、まず下書きをして、必要な要素が落ちていないか、また、余計な内容が書かれていないかをチェックしてから答えを清書しましょう。問9は、筆者の主張をとらえる問題です。一つ一つの選択肢が長いので、それぞれを注意深く本文と照合して考えるようにしましょう。

2 文学的文章読解 74.5%

ねらい：場面の設定や登場人物の心情を読み取る力を問う。また、漢字の読み書きや、語句についての知識を問う。

分析と対策：漢字の書き取りの「干し」「解放」「優しく」は、どれも小学校で習う漢字です。読み取りだけでなく、確実に書けるようにしておきましょう。文章の読解では、主人公まいの、ゲンジに対する気持ちや、おばあちゃんに対する気持ちを読み取りましょう。問2は、三十字以内で書く記述問題です。このあとのまいの会話などから、きちんと内容をまとめましょう。問3、問4では、まいのおばあちゃんのお気持ちや考えをとらえてください。問9では、本文全体を通して、おばあちゃんが、まいにとってどのような存在であるかという人物像をとらえましょう。

3 古文読解 83.3%

ねらい：古文の読解に必要な基本的な知識や、動作主をとらえる力などがしっかりと身に付いているかを問う。

分析と対策：この文章では、泊まり客とその家の亭主とのやりとりが描かれている笑い話です。「ゆるりとお入りなされ」という亭主の言葉をそのまま受け取り、長湯してしまう泊まり客の姿がおかしみを出しています。問2は、文中の動作主をとらえる問題です。古文では、主語の省略が多いので、だれの行動であるかと考えながら読み進めることを心がけてください。問3は、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題です。ここで問われている「あらうが」以外でも、本文中の「きづかひ」「いへば」「こゑ」などは現代仮名遣いに直せるようにしておきましょう。

全体の平均点は 72.1点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。